

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S 1 0

平成22年8月4日発行

発行元：かわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

VOL.5

杉並の課題を調べるワークショップ 独自のアイデアを探そう！

7月28日
夜コース

今回は手塚さんより、「杉並の課題を調べる」というテーマで、様々な課題発掘の視点を学んだ。

まず重要なのは自分の課題・プランの「独自性」である。手塚さん曰く「自分が気になる課題は、案外既に解決していたり、似たような課題解決へのアクションがすでに起こされていることがあります。そういうことがないように、先行事例の調査が必要。先行事例を研究することにより、自分のプランの客観的な魅力や差別化のヒントが見つかります。」まずは情報収集。それには広報すぎなみを調べるのが近道。それぞれが、自分の課題と関係がある記事や解決に役立ちそうな情報がないか、調査し発表しあった。

次は「ミニディベート」を行った。ディベートとはディスカッションやいい争いと違い、「ある一つの論題について、肯定側と否定側に分かれ、一定のルールにしたがって行い、最後に審判によって勝敗が下される」討論会のことである。今回は、「電車内の優先席を撤去します」という課題で、「YES」担当と「NO」担当とジャッジの3人組で行った。ポイントは時間を決め、担当を交代すること。これにより論理的に物事を考える力と、対立する立場にたつて物事を考える習慣がつく。白熱した意見交換、ジャッジ担当もなかなか難しそうであった。結果、「NO」の勝利が多かったのはディベート力の勝利か、常識の範囲か？

脳みそが柔らかくなったところで、最後に自分の気になっている杉並の課題を、ポストイットに書き落としてみた。今後、受講生同士の問題意識の共有や、グループ分けにも使っていけるであろう。（湊）

悩みながら広報情報収集中！



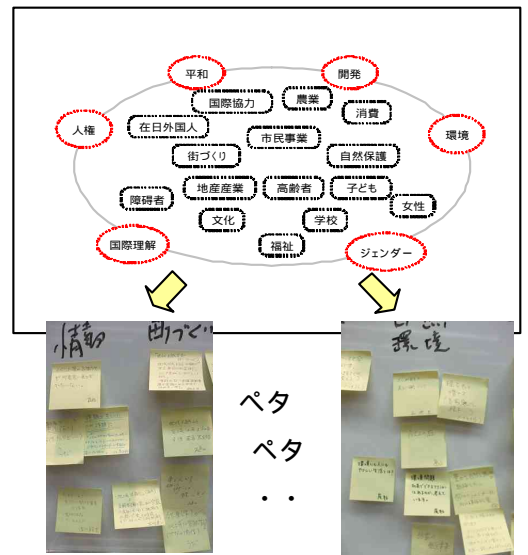
メモを作ってディベートスタート

プランの客観的な魅力

ミニマムディベートで実体験
「電車内の優先席を撤去します」

	予定原稿
YES	自主的な優しい心が育たない
NO	強制的かつ最低限の仕組みが必要
ジャッジ	

ジャンルに分けて自分のポストイットを貼る



受講生からの声

土の癒やし

日当りさえよければ、



ほんのちよどのスペースでも野菜は育つ。最初は「安心な野菜が食べたい」と思ってたけど、家庭菜園だったかと思わぬ効能を発見。それは畑の世話の時間が癒やしの時間になっているという事。作業中は何も考えない。無くなっていて、身体感覚だけが働いているみたいだ。忙しくても畑に行くとその後はスッキリ心も身体も身軽になる。土にふれるのが良いのかな。仕事に疲れた時など身近でできるリフレッシュ法。是非お試し下さいー！

（尾形紗世）

「すぎなみ大人塾」発！

『「縁育ての楽校」—みんなが輝く生涯学習実践記』

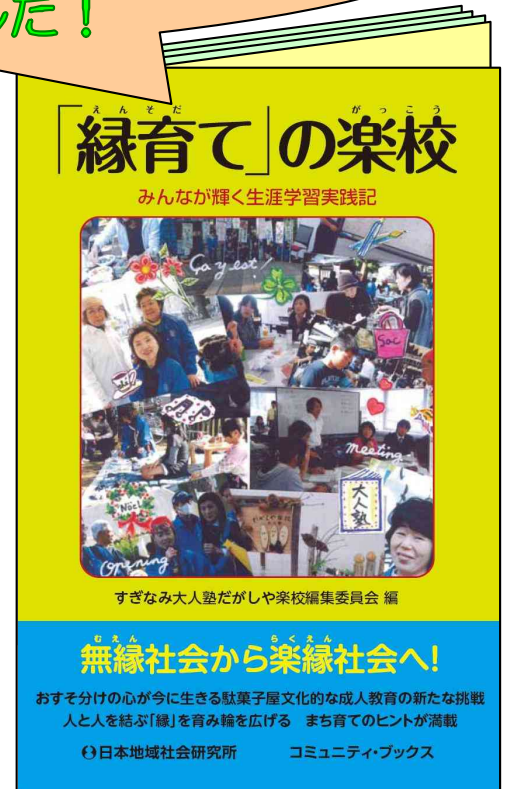
発刊しました！

杉並区教育委員会主催の成人学習事業「すぎなみ大人塾」の受講生たちが、『縁育ての楽校 - みんなが輝く生涯学習実践記』を6月末に出版します。平成 21年 11月に「すぎなみ「だがしや楽校」in 妙法寺」を開き、新たな地域づくりの実践をした経験を踏まえ、お茶とお菓子の「おすそわけ」を片手に、半年間にわたって書き綴ったものです。

生涯学習というと、とかく趣味・教養的なものとして個人やグループのなかで完結してしまいがちですが、自分の趣味・特技をお店形式で地域開放的に見せあう経験をした受講生は、「仕事場とも家庭とも違う、別の場所や関係のなかで他者と手を取りあい何かをつくりあげる経験は、自分に自信を取り戻したり、他者から信頼されるなど、人を生き生きとさせるものである」(本書より抜粋)ということを実感しました。

受講生はそれぞれ介護や子育て、退職後の地域での生活、といった生活の課題と向き合いながら「すぎなみ大人塾」に参加し、「だがしや楽校」の実践を柱とする学習を通して、「語りあい」や“分けあうこと”の重要性に気づいていきます。そのことが率直な言葉で書き綴られています。

これからの「生涯学習 = 大人の楽校」は、じっくりマイペースで「縁育て」をしていながら、「新しい地域社会」をつくる役割もはたしていける可能性があるのではないか、ということがじわじわと伝わってくる、そんな本になっています。皆様も、ぜひ本を手にとりいただき、そうした地域に関わるはじめての一步にしてみてください。



【本書の概要】

著書名：『「縁育て」の楽校 みんなが輝く生涯学習実践記』

著者：すぎなみだがしや楽校編集委員会編

出版社：日本地域社会研究所

「すぎなみだがしや楽校編集委員会」とは、すぎなみ大人塾09年度昼コースの受講生が立ち上げた委員会です。



区内の本屋や区役所一階「コミュニティショップ」で絶賛販売中！編集委員による手作りポップが飛んでいます

【本書の内容】

第1章
「縁」を育んだ一年間の活動記録
大人の学び場「大人の楽校」がどのように実施されたのか。
講座担当者による写真・図満載の活動記録。

第2章 大人の生活綴り方教室
子どもころの地域、退職後の地域での生活、子育てや介護、大人が学ぶこと…など、市民の率直な言葉で綴られています。

第3章 大人の学習を未来設計する
「だがしや楽校」の発案者、高千穂大学教授松田道雄氏が、これからの大人の学習について新たな提案。

第4章 「縁育ての楽校」をコーディネート
大人の学び場の専門家・社会教育主事が、「縁育ての楽校」のエッセンスについて綴りました

□すぎなみ大人“塾”してる？の発行にあたって□

この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。